

家庭科

60

2017

Vol.22 No.1
TAISHUKAN

通信

平成30年度
教科書・指導資料類・副教材の
ご案内……………10



[新しい動き]

- ① 育児・介護休業法改正……………26
- ② ガイド50 JIS Z 8050……………27

◆研究室から……………被服製作の楽しさと意義を伝える 東京学芸大学名誉教授 鳴海多恵子……………3

◆DIYでおうち磨き・12……………築40年の団地をリノベーションする 末永 京……………23

◆エッセイ・和のある暮らし⑭……………ご苦労さま, いろいろな道具を供養する 石橋富士子……………24

◆日本家庭科教育学会 2016年度例会報告……………25

[DATA FILE] 「男女共同参画社会に関する世論調査」より……………2

[Key Word] 地域型保育事業／デジタルデトックス／プレミアムフライデー／デコパージュ……………28

[Question & Answer] スマホの紛失……………30



内閣府は2016年10月31日、「男女共同参画社会に関する世論調査」(対象：全国18歳以上の者5,000人)の結果を公表した。2015年9月に「女性活躍推進法(女性の職業生活における活躍の推進に関する法律)」が公布・施行されたが、人々の意識は変化しているだろうか。調査結果からいくつかのポイントを抜粋してご紹介する。

●職場において男女の地位は平等になっていると思うかについては、「男性の方が優遇されている」とする者の割合が56.6%（「男性の方がひじょうに優遇されている」15.1%+「どちらかといえば男性の方が優遇されている」41.5%）、「平等」と答えた者の割合が29.7%、「女性の方が優遇されている」とする者の割合が4.7%（「どちらかといえば女性の方が優遇されている」4.1%+「女性の方がひじょうに優遇されている」0.6%）となっている。前回調査(2012年12月)と比較すると、「男性の方が優遇されている」とする者の割合(57.7%→56.6%)が若干低下し、「平等」(28.5%→29.7%)が若干上昇している。「女性の方が優遇されている」(4.6%→4.7%)はほぼ変わらない結果である。

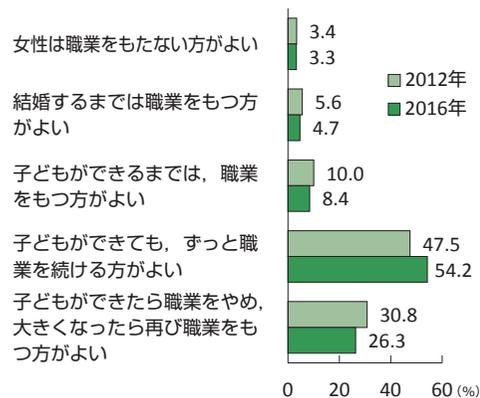
●女性が職業をもつことについては、■①のような結果となっており、前回調査と比較して、女性がずっと職業を続ける方がよいと考える人が増えていることがわかる。

●男女共同参画に関することばのうち、見たり聞いたりしたことがあるものについては■②のような結果となっている。

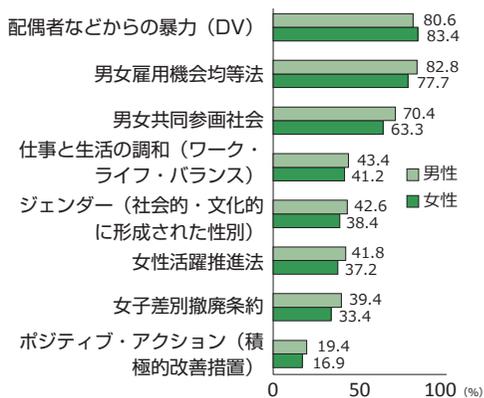
●今回から新たに設置された質問項目「仮に結婚して戸籍上の名字(姓)が変わったとした場合、働くときに旧姓を通称として使用したいと思うか」については、「旧姓を通称として使用したいと思う」が31.1%、「旧姓を通称として使用したいと思わない」が62.1%となっている。旧姓を使用したいと思うとした者の割合は大都市で、使用したいと思わないとした者の割合は町村で高くなっている。

●詳細は、内閣府 Web ページ(<http://survey.gov-online.go.jp/h28/h28-danjo/index.html>)で閲覧・ダウンロードできます。

■①女性が職業をもつことに対する意識



■②男女共同参画に関する用語の周知度



被服製作の楽しさと意義を伝える

東京学芸大学名誉教授 鳴海多恵子

はじめに

長年、被服製作を指導してきたが、今がもっとも手応えや充実感を得ていると感じている。

授業のはじめは学生たちの負担感からもらすため息や面倒がる表情に満ちていた教室がじょじょに活気を帯び、熱心な取り組みに変わってくる。被服をつくることを新鮮にとらえ、作品が完成したときは達成感に目を輝かせる。このような学生たちの大きな変容を目の当たりにすることができる授業はほかにはないのではないかとさえ思う。自分の縫う技術に自信がなく、生活にいかす姿勢も乏しい学生たちであればこそ、被服づくりを通して能力を自己発見したことが変容につながっているものと思う。指導の労力はかかるが、人を育てているという実感を得ている。

高校でも玉結び・玉どめを指導しなければならない、という話題をよく耳にするが、大学生も同様である。私の授業でも小学校、中学校の学習内容を復習しなければ先に進めない状況である。縫製の基礎的技術のほとんどは小学校の学習内容である。布を用いた製作の機会は、5、6年生を通じて3回はある*¹。その後も中学校で学び、高校でも、「家庭基礎」の履修者が多いとはいえ、手縫いを使った小物づくり程度の経験はもっている。これだけの時間をかけて学んでも、もっとも基本的な技能の習得ができていない、また、自信がない生徒が多いのはなぜだろうか。大学1年生に、自分の経験に基づいた意見を求めたところ、以下のように集約された。

・日常生活で活用する機会がなかった

- ・友だちにやってもらっていた
- ・縫製に関心がなかった
- ・縫製のおもしろさや大切さを意識している人が少なかった
- ・小・中・高校の学習内容が同じで製作意欲がわかなかった
- ・学習時に確実に指導されていなかったと思う
- ・教師自身に家庭科を軽視する傾向があると感じた
- ・「できない」「不器用」が通用する空気があった
- ・授業が少ないし、厳しくなかった

学習者側の指摘もあるが、指導者側への指摘も厳しい。回答した学生たちが家庭科教員をめざしているゆえかもしれない。

家庭科教育は、平成10～11年の学習指導要領改訂において、中学校における被服の製作が選択内容となり、同時に被服製作を含まない高校「家庭基礎」が設置された。中学校の被服の製作は平成20年の改訂時には必修内容に戻ったとはいえ、高校での「家庭基礎」の選択率は現在では8割に近い。家庭における生活技術の教育力の低下とともに、学校教育においても教育内容が減少している状況の中では、教員をめざす学生の被服製作に関する知識・技能の低下は避けられない。家庭科教員として生徒のつまづきを理解し、適切な指導や教材の工夫ができる指導力および専門的知識と技術を培うためには、自己研鑽等を積み重ねる必要がある。本稿が研鑽に資するものとなれば幸いである。

被服製作学習が育むもの

日常生活では布を使ったものづくりの必然性が低下し、家庭で布と針をもつ機会が減少している。しかし、だからこそ、学校教育で被服製作学習を通して生活技術と知識および衣生活文化を学び、伝承していくことが重要になっている。ものづくりは、技術のみならず、生徒たちの手指の巧緻性、創造性や表現力、思考力、協調性、先を見通す力、コミュニケーション能力などの基礎的能力を育て、自分でできるという自信を育むものである。しかし、私たち教員は、生徒たちに被服製作学習の意義を伝えているだろうか。単に作品を完成させることが目的ではないこと、製作活動を通して多くの能力や感性が育つことなど、言葉で伝えてもなかなか実感として得ることはできないかもしれないが、作品が完成したときに見せる生徒の輝く表情には、言葉では説明しきれない学習の意義が感じられる。製作を通して被服製作学習の意義を実感している例として、大学2年生の被服製作後のレポートを紹介する(■①)。

■① 被服製作後のレポート

被服をつくってみると、被服づくりの大変さが身に染みるだけではなく、被服の構成や機能性や手仕事の大切さを実感することができる。ミシンを使うことによって、手縫いでは難しい速さや強度、美しさを得ることができ、人間が生み出した機械・技術のすばらしさも体感できる。自分の手によって素材が変化していくことが実感できることで、自己有用感が高まり、達成感を得ることもできる。ものづくりには多くの時間と技術が費やされていることを知り、自分の身のまわりのものを改めて見直すことができる貴重な機会だと思った。普段何気なく着ていた被服であるが、どんな意図をもって製作されたのか、どんな工夫がなされているのか考えると、被服に対する愛着がわくようになった。このような経験をするすることで、被服を丁寧に扱うようになったり、すぐに捨てることはなくなったりするのではないだろうか。

また、何よりも印象に残っていることがある。今回30人近い仲間とともに製作していったのだが、本格的な被服製作はほぼ皆初めてで、弱音を吐くことも多かった。しかし、そのたびに「皆で完成させてパジャマパーティーしよう」とか「今ど

さらに、より多くの学習者および社会にむけて、被服製作学習が衣生活を主体的に管理するための学習のみならず、生きる力を育むために重要であることを示すために、その効果を実証する数値的な知見が必要である。私は数値的評価が可能な被服製作で培われる能力として、手指の巧緻性の向上に着目して研究を続けている。

子どもたちの手指の巧緻性

(1) 手指の巧緻性の実態

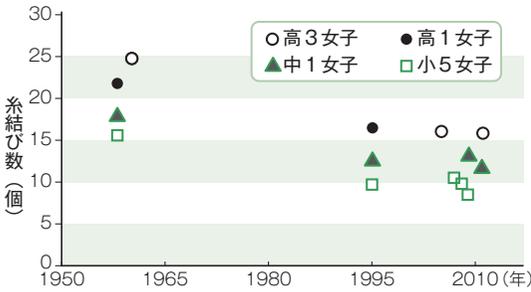
手指の巧緻性とは手指の微細運動能力と左右の手の協調性であり、一般的には「器用・不器用」と評される。「最近の子どもたちは不器用になった」と、いつの時代も発せられている言葉であるが、特に被服製作など細かい作業を指導する家庭科教員は感じる人が多いだろう。どの程度不器用になったのか、具体的に数値で示したのが■②である。測定方法は「糸結びテスト」*2という、10cmに切り揃えた手縫い糸を机上に並べ、これを5分間で「こま結び」によってつなぎ合わせた結び目数で評価するものである。

ここまで進んでる？ 教えるよ」などと助け合いの精神を発揮して頑張ってもらえた。仲間の完成を自分のことのように喜び、助言を素直に聞いて教え合うようすは、自分で言うのもおかしいが「頼もしかった」と思う。中には、授業の一環だからしかたなくパジャマを製作していると言ってあまり学習意欲のない人もいたと思う。しかし、最終的には仲間と協力しながら作り上げてきた。そのプロセスにおいて、「達成感・諦めない心・自信」を身につけることができたと思う。この力は生きていく上で土台となるものだと考える。集団での被服製作を通して、人は助け合って生きているんだということ、私にもやればできるんだという自信を手に入れることができると感じた。

また、被服製作自体は個人作業ばかりである。この時間は自分とむき合うことにもなった。地道で細かな作業は、忍耐力と集中力を要した。作業が嫌になったときは、完成したパジャマを着て喜んでいる自分を想像しながら頑張った。困難にぶつかったとき、自分とどうむき合っていくかということ、パジャマ製作を通して考えさせられた。

(東京学芸大学家庭科平成27年度2年生)

■② 手指の巧緻性の年代的变化(女子)



■②のもっとも左側のデータは、「糸結びテスト」を開発した太田氏による1958年の調査結果である。1995年以降は、同様の方法で鳴海、川端ら^{*3}が継続的に調査した結果を示している。1958年と比較して明らかに低下しており、現代の糸結び数の成績は5割から6割程度であることが分かる。時間に換算すると、一つの結び目をつくるのに1.5倍の時間がかかるようになっている。手指の巧緻性は、成長とともに向上するものであるが、現代の高校3年生が昔の小学校5年生と同じくらいである。

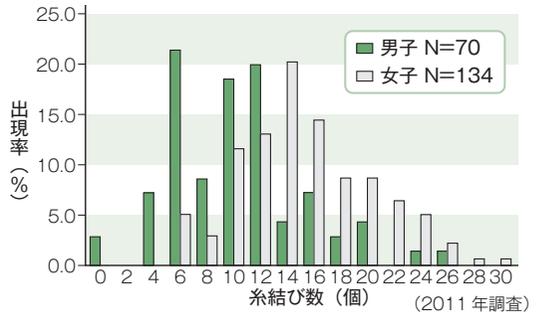
かつて、日本人は器用な国民と諸外国から評価されてきたようであるが、1997年に実施したアメリカ人と日本人女子大学生との調査では、残念ながら両国間に平均値の差は認められなかった^{*4}。

(2) 手指の巧緻性の男女差

被服製作学習は作業進度に個人差が生じやすい。作業の遅速は取り組み姿勢や理解力などが要因であるが、手指の巧緻性の優劣の影響も大きく、小学生対象の調査では手縫いの作業進度と糸結びテストの成績間で高い相関が確認されている^{*5}。

■③は糸結びテストの成績の男女の分布を比較したものである。平均値は男子10.8、女子16.0で女子の方が手指がよく動くことがわかる。さらに、糸を結んだ数の分布では男子に成績の低い者が多く、女子よりも個人差が大きいことが示されている。このことから同じ製作教材を指導する場合、男子の進度に特に留意しなければならないことがわかる。女子と同様、手指がよく動く男子がいる一方で、不器用感を味わっている男子も少な

■③ 糸結びテストの成績の男女差(高校3年生)



くない。指導においては、性別にかかわらず個の特性に応じた指導への配慮はいうまでもないが、製作への関心・意欲を持続させ、次の活動に発展させるためには、特に男子の手指の巧緻性への配慮が大切である。

(3) 被服製作学習と手指の巧緻性

被服製作学習は、針、糸を「つまむ」、布を「つかむ・押さえる」、手首を「ひねって」縫う、道具を「握る」など作業工程の中で手指が多様に動く。また、作業の段取りや課題解決、創意工夫などの思考もともなっている。さらに、作品が完成するまでの時間的継続性もある。これらは手指の巧緻性を高めるじゅうぶんな要素である。

男子高校生を対象に、まつり縫いの練習を毎回の家庭科の授業開始時に実施し、初回と最終回に糸結びテストを実施した調査では、糸結びテストの成績が平均3ポイント上昇し、被服製作が手指の巧緻性の向上に寄与することを実証している^{*3}。特に、練習開始時に成績が下位であった生徒ほど成績の向上がめざましかった。太田氏の研究では、手縫いの繰り返し練習は手指の巧緻性を高めるが、糸結びテストの上位者を下位者が練習後に凌駕することはないと述べている。これはおそらく、60年前には高校生になるまでにじゅうぶんに手指を動かしており、同じように手縫いの練習をしても「上手な人は上手なりに、下手な人は下手なりに……」の関係は変わらない、すなわち巧緻性の優劣が変わることがなかったのであろう。それに対し、現代では、高校生段階でも手指を働かせる経験をじゅうぶんにもつことによって、糸

結びテストの成績順位を逆転させるほど向上する生徒がいるということである。自分の可能性に気づいていない生徒がまだまだ大勢いるように思う。

手指の巧緻性は、単に作業性の問題だけでなく、性格や学習に対する姿勢などへも影響することが確認されている。すなわち、手指の巧緻性が高い生徒は「協調性」「情緒の安定性」があり、幅広い活動への自信をもっている。また、手指を使う学習を好み、ものづくりへの関心が高い。製作学習を通して「器用さ」に対する自信を高め、さらに積極的な製作学習への取り組みにつなげたいものである。

手縫いの基礎の指導ポイント

生徒たちは手縫いをしている場面および手縫いが施されている製品を見る機会がほとんどない。したがって、当然知っているだろうという前提で指導を進めると、生徒にとっては説明が理解しがたい場合がある。基礎的な事項についても生徒たちの実態に応じて説明するとともに、科学性や合理性についても触れて、高校生に適した指導が必要であろう。

(1) 縫い針のもちかた

手指の巧緻性が低い場合、概して小さいものをつまむ動作が苦手である。布を縫うときに、親指と人差し指ではさむように針をもつ様子(■4左図)が散見されるが、■4右図のようにつまんでもった場合と比べ手首の可動域が狭くなる。縫うという作業は、布に直角に針を刺すことによってしっかりと縫合されるので、手首を上下に動かしやすい右のようなもちかたをする必要がある。

(2) まち針の打ちかた

まち針は、布をとめる効果と安全性に配慮して

■5 a のように刺すよう指導するが、b, c, d のような刺しかたで身についている場合も少なくない。よこむきに刺した方が布をよくとめられる(b)と考えたり、はさみの受け渡しと同様に刃先を人にむけない(c)と考えていたりするようである。bは手縫いを進めていくうちに脱落しやすいこと、cは布を押さえている手に刺さるおそれがあることを理解させたい。dはまち針の役割を理解させる必要がある。

まち針を打つ順番も2枚の布の長さのバランスを整えるために重要である。「わ」になっている場合は反対側の端に打ち、布の長さを整えながら「わ」の近くに打ち、次に中央に打つ。必要に応じて、その間にも打っていく。「わ」になっていない場合には、左右のどちらの端から打ってもよい。まち針を打つ順番の合理性を理解することは、被服製作の肩縫い、そでつけなど、「いせこみ」の技術に発展する基礎となる。

(3) 並縫い、返し縫い

並縫いは手縫いの中では比較的定着しているが、そろった縫い目で続けて縫うような熟達した状況ではない。高校家庭科では並縫いの練習教材に刺し子が扱われることがある。刺し子は並縫いを繰り返す、単純な作業の連続ではあるが、縫うことに不慣れで自信のない生徒にとっては、安心して取り組み、さらに上達が自ら確認できるという点で有効である*6。針を刺す位置がわかるという点も取り組みやすい要因である。その点から、手縫いの練習布としては、無地よりも5mm程度の格子模様のあるギンガムチェックを活用するとよいであろう。

返し縫いとして本返し縫いと半返し縫いを学習しているが、二種の縫いかたの特徴について、縫

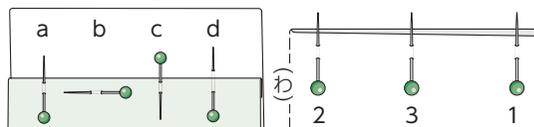
■4 縫い針のもちかた

針をはさんでもつ

針をつまんでもつ



■5 まち針の打ちかたと打つ順番



い目強度が本返し縫いの方が高く、作業効率では半返し縫いがすぐれている点を理解させ、生活への有効な活用につなげたい。

(4) まつり縫い

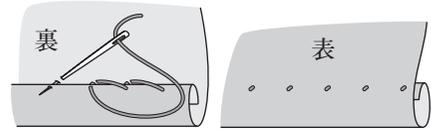
中学校の学習内容であるまつり縫いは、特に定着が悪い。学習時間およびその後の活用の機会が不足しているという学習環境の問題は大きいですが、既製品がほとんど機械縫いで仕上げられ、まつり縫いを日常的に目にすることがないため、縫い目の形や用途が理解できていないのである。まつり縫いの練習に際しては、既製品の折り目をとめていた縫い目がほつれた場合に有効な縫いかたであること、ミシンの縫い目に比べて表側から縫い目がめだたず、仕上がりが柔らかいことなど、特徴をじゅうぶんに理解させたい。また、練習に際しては、生徒が手もとで参照できる実物標本の準備が望ましい。

まつり縫いには縫いかたや用途による種類がある。「流しまつり」は、表目をすくうときに折り山も一緒にすくう縫いかたである。速く縫える方法であるが、表に出る目が斜めになるためめだちやすい。より小さな目にしなければならない点で、技術的にやや高度である。初めてまつり縫いを学習する中学校段階では、小さく布をすくうことが難しいため、「普通まつり」(■6)に示すように、表目になる縫い目は水平に小さくすくい、次に折り山の内側から折り山をすくう、二段階で縫う方法を扱っている。高校では、発展的に流しまつりを指導することも考えられるが、生徒の技術力に応じて対処するとよいであろう。

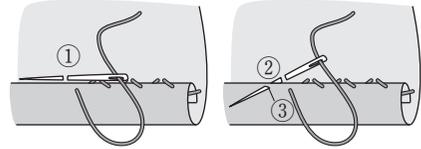
縫いかたの注意点としては、表目がめだたないように小さく縫うことと、裏側も折り山を浅くすくうようにする。しっかり留めるという意識から、■7のように折り山を深くすくいがちである。みづえが悪いばかりでなく、摩擦によって縫い糸が切れる可能性があるので、できるだけ浅く縫うことを理解させる。「奥まつり」はロックミシンで布端が始末されている既製品の補修に適した縫いかたである。基本的な作業は普通まつりと同様であるが、布端を5mm程度手前に折り返し、折り

■6 まつり縫いと千鳥がけ

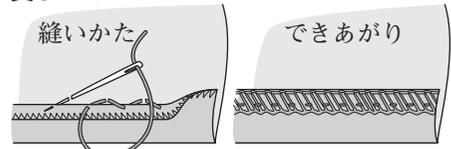
流しまつり



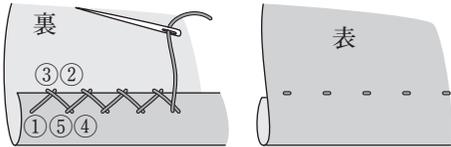
普通まつり



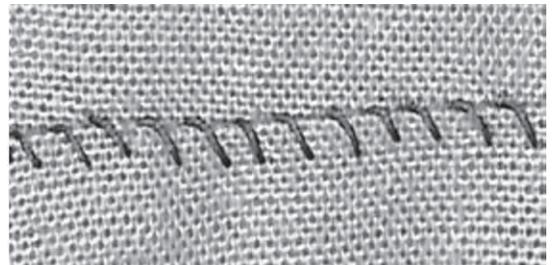
奥まつり



千鳥がけ



■7 折り山をすくう目が深い例



目の内側の布をすくう点で難しさがある。すでにまつり縫いが定着している生徒には、高校段階にふさわしいスキルアップの技術として指導するのもよいだろう。

(5) 千鳥がけ

千鳥がけは、ジャケットやコートのすそをとめるときに用いられ、裏地が折り返しの上に被さり、千鳥がけの縫い目が見えない使いかたをするが、もう一つ、近年増えている伸縮性のあるニットを用いた既製品のすその縫い目がほつれたときの補修にも適している。ニットの縫製は、布の伸びに

対応する縫い目であることが求められる。千鳥がけは糸がクロスしていて、長さに余裕がある上に、自由度が高いので、ある程度は伸びに対応する余裕がある。縫いかたの特徴は、左から縫い始めることである(右利きの場合)。折りしろは中折りせず、ロックミシンがしてある場合にはその縫い目の上に千鳥がけの縫い目をつくるように縫う(■6)。

ミシン縫いの指導のポイント

過去には嫁入り道具といわれたミシンも、今はほとんどの家庭にない、という声を聞くことがある。しかし、小学校での調査などでは6割以上の家庭で保有していることが確認されている。保育園や幼稚園入園時の通園グッズの手づくりをきっかけとして、ミシンの利用が増えているともいわれている。ミシン縫いは機器の準備が必要なので、手縫いに比べて手軽さには欠けるが、じょうぶで美しい縫い目が速く縫え、完成度の高い製作ができる。被服づくりなど、布を使ったものづくりには欠かせない機器である。また、精密な家庭機械を活用する能力を養う上でも、意義のある学習である。

ミシン縫いの楽しさを体験する学習のためには、上糸、下糸の準備を確実に習得すること、スピードに慣れること、安全に配慮する姿勢を養うことが重要である。

(1) スピードに慣れる指導

ミシン縫いの楽しさの一つはスピード感があることである。一方で、そのスピードについて行けず、苦手意識につながっていることもある。前に進む布を思わず押さえてしまうことによってミシン針が湾曲し、糸がらみや針が折れるといったトラブルが発生することもある。できるだけ長い布を練習に用い(50cm位)、コントローラをいっぱいまでふみ込んだときの布の進み具合を体験して、スピードに慣れさせることが必要である。

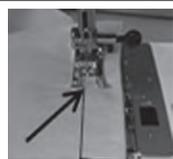
(2) スキルアップの自信をもたせる指導

思い通りに縫えた経験は自信につながるものである。多少高度な課題を練習時に取り上げ、達成

感を自信につなげることも考えられる。

<課題例：三つ折り縫い>

折り目から1~2mmの位置を縫う。ミシン針を縫う位置に刺したときに、折り山が押さえのどこにあるかを確認し、縫っている間は折り山とそのポイントを合わせるようにすると、定位置に縫い目のある三つ折り縫いができる。



(3) トラブルへの速やかな対応

ミシン縫いのトラブルは作業を停滞させ、製作意欲をそぐ原因になる。教員も個々の対応に追われ、教室全体が見通せなくなるなどの状況になる。本来、トラブルは問題解決力を養う上で生徒自身が処理することが望ましいが、使用経験の少ない場合は原因を発見するのは難しい。指導者が速やかに原因を見きわめてアドバイスをし、生徒自身が解決することにつなげるのが肝要である。

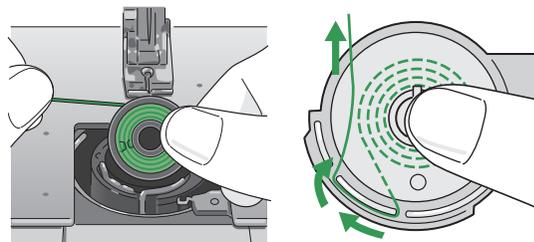
<不調原因と指導>

●縫い目不良の原因でもっとも多いのが、ボビンをかまに入れるときのむきとかまのみぞに糸をかけていないことである。縫っている途中でみぞから外れる場合もある。糸をみぞに入れるときには指でボビンを押さえながら、糸がみぞにカチッと入る手応えを確認するよう指導する(■8)。

●糸がらみは、縫い始めに発生することが多い。上糸と下糸をそろえて押さえのむこう側に引き出してから(15cm位)、布を押さえの下に入れるよう指導する。糸がらみが生じて布が動かなくなった場合は、はずみ車を前後に少しずつ回転させながら布を引き、針板の際で絡んだ糸を切ったあと、かまの中の糸を取る。

●布が進まない、縫えない原因は糸がらみによるもののほか、送り調節ダイヤルが0の位置になっ

■8 下糸を確実に入れる



ていることもある。ブロード、ギンガムなどの中程度の厚さの布の場合は送り調節ダイヤル2.5程度が適切である(綿糸の場合は2～2.5, ポリエステル糸の場合は2.5～3)。

●また、下糸を巻いたときに引き出したはずみ車のストップモーションが戻っていなかったり、押さえを下げずに縫っている場合もある。

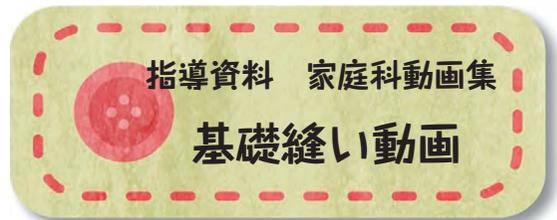
(4) ミシンの管理

不特定多数の人が使用する学校のミシンを円滑に使用するためには、定期的な点検調整が不可欠である。ミシン針の交換とかまの中の掃除をするだけでも、糸がらみや上糸切れ、縫い目の不調を回避する効果がある。専門業者に委託できない場合は教員の負担となるが、授業準備としてミシンの状態を把握することになり、また、教員自身のミシン技術力への自信にもつながるので実施することを勧めたい。

おわりに

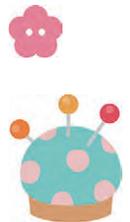
大学生を対象とした小・中・高校の家庭科の学習経験のイメージに関する調査によれば*7, 生活領域で「おもしろかったこと」は、「製作・実習」で、自分自身の手でいろいろな作品をつくる楽しさだけでなく、製作・実習を通して味わった「作品を完成したときの達成感」や「アイデアを形にすることの楽しさ」があげられ、男子を中心に「ミシンを使うことに興味があった」ことが報告されている。一方、「つまらなかったこと」にも「製作・実習」があげられ、手縫いを中心とした基礎縫いなど形や布を選ぶことができない教材、非実用的な作品に対する不満、ミシンの不足や故障に対する不満が男女ともに多くあげられている。製作教材に個性や創造性を重視することの大切さ、ミシンなどの教具の管理の重要性が示唆されている。生徒が被服製作学習に楽しく取り組み、学習の意義を理解するための指導方法や製作教材の開発は喫緊の課題である。高校家庭科の時間数の減少および学習内容のしぼり、さらに教職の多忙の中ではあるが、生徒たちの実態をもっとも理解する高校の先生方の開発力に期待したい。

- *1) 開隆堂出版「私たちの家庭科」家庭532(2015年)
- *2) 藤沢キミエ・太田昌子：被服技能を測定する一方法(糸結びテスト)について、家政学研究, 6, p.66-71(1958年)
- *3) 鳴海多恵子他：手指の運動機能性と被服製作学習に関する研究報告書, 平成9～11年科学研究費補助金報告書(09680005)(2002年)など
- *4) H.Kawabata.etc.: Studies on Actual and Self-evaluated Skillfulness in Fingers and Hands of U.S.and Japanese College/University Students, 日本衣服学会誌, 43, p.7-13(1999年)
- *5) 鳴海多恵子他：手指の巧緻性の実態と被服製作学習の課題報告書, 平成20～22年科学研究費補助金報告書(20500645)(2011年)
- *6) 川端博子, 鳴海多恵子：「刺し子」学習の効果と指導に関する一考察, 日本家庭科教育学会誌 54(4), p.248-257, (2012年)
- *7) 雙田珠己, 鳴海多恵子：小学校教員免許取得希望者の衣生活領域の学習に対する意識, 東京学芸大学紀要総合教育学系第59集, p.443-452(2008年)



【収載動画】

1. 玉結び・玉どめ
2. 並縫いと並縫いの活用例
3. 返し縫いと返し縫いの活用例
4. まつり縫いとまつり縫いの活用例
5. ボタンをつける
6. カギホックをつける



縫っている人の目線の動画で、手もとが大きくみえ、やりかたがわかりやすい！



【動画例】返し縫いと返し縫いの活用例▲



家総311

新家庭総合

主体的に人生をつくる

●B5判/246ページ/オールカラー



家基318

新家庭基礎

主体的に人生をつくる

●B5判/222ページ/オールカラー



家基319

未来をつくる

新高校家庭基礎

●AB判/198ページ/オールカラー

3冊共通の特色

●学習しやすい構成

学習指導要領をベースに、生徒が理解しやすい展開、ご授業が進めやすい順序に配慮して、学習内容を構成しました。

●資料の豊富さはトップクラス!!

教科書1冊で、一通りの学習ができるよう、図、グラフ、表、コラム、写真、イラストを満載しました。

●主体的・能動的に学べる工夫

学習のまとまりごとに設定した小課題「try&hint」を中心に、課題を発見し、その解決にむけて主体的・能動的に学ぶ「アクティブ・ラーニング」につながる課題をたくさん掲載しています。



さらに、現実の授業時間を想定して編集したのが「家基319」

見開き2ページ＝1時間の授業内容

全61項目で構成し、家庭科の学習が一通り履修できるように配慮しました。

シラバス、授業計画が立てやすく、準拠の「授業ノート」で学習のまとめや評価がしやすいのも魅力です。

Universal Design

すべての児童生徒が楽しく学び合い、「わかる・できる」ことをめざす授業のユニバーサルデザイン(UD)。授業の大切なツールである教科書もUDに取り組んでいます。

●視認性を高める…項目や見出しはバツと目に入るデザインに。

●可読性を高める…本文はUD書体、ルビは、難解な読みだけでなく、読み間違えを防いだり、留学生なども読めるように配慮してつけています。

●判読性を高める…グラフは識別しやすい色で分け、さらに、線で区切る・囲む、数字を示すなど正確に読みとけるよう配慮しています。

●書体の違い

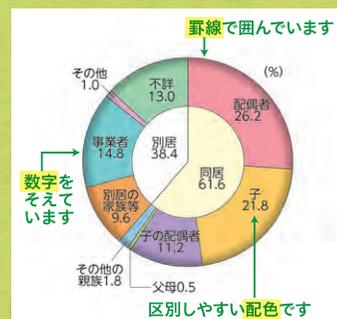


リウムイン 新ゴ
(一般的によく使われる書体)



UDヒラギン UD新ゴ
(弊社改訂版教科書で使っている書体)

●グラフのつくりもUDに配慮



大修館のめざす 家庭科教育と5つの 育てたい力

変化の激しい時代を生きる生徒たち。

大修館の家庭科教科書は、**社会の一員としての**

意識をもちながら、自分の目標や夢にむかって

自分の生活を力強くつくることのできる人に

育てることをめざして編修しました。

③ 意思決定力と実践力

何を大切に思うか、何に価値をおくかで、同じ問いに対する答え、意思決定の結果は異なります。人生は意思決定の繰り返し。成功も失敗もある。家庭科の学習を通して価値観を確立し、その価値観にもとづいて意思決定し、実際に行動できる力を学習を通して身につけます。

④ 生活スキル

どんなライフプランを立てて実行しようとも、その土台となる毎日の生活をつくることができなければ実現には至りません。衣食住を中心とする基礎的・基本的な知識や技術、地域や社会で生きる一員としての人間関係形成力をしっかり身につけます。

⑤ 共生・協働・国際性

インターネットを通じて、世界中のようすがすぐにわかる時代です。日本の生活や文化を理解し、世界の人々の生活や文化を知り、地球規模で環境問題を考えられる、そういう国際的視点をもって生活できる人になるよう、学習を深めます。

① 人生をデザインできる力

生涯にわたって、目標や夢にむかうライフプランを描き続けられるよう、その知識と技術をしっかり学習し、身につけることをめざしています。

② 着実な経済生活を営む力

ライフプランを実現するには、着実な経済生活を営む力が不可欠です。家庭科を学ぶ最後の3年間。高等学校の家庭科だからこそ力を入れたい学習であり、しっかり学べる内容に編修いたしました。

[家総311][家基318][家基319] 著作関係者 (所属は2017年3月現在)

編著者

佐藤 文子 (前植草学園大学/家政・家庭科教材研究所)
青木 幸子 (東京家政大学)
川上 雅子 (共立女子大学)
中間 美砂子 (前國學院大學栃木短期大学)
石川 洋子 (文教大学)
岡村 清子 (東京女子大学)
重川 純子 (埼玉大学)
鈴木 真由子 (大阪教育大学)
鳴海 多恵子 (東京学芸大学)
野中 美津枝 (茨城大学)
細江 容子 (実践女子大学)
山岸 雅子 (金沢大学)

著者

赤澤 愛 (東京都立農業高等学校)
市原 恵子 (愛知県立豊丘高等学校)
上田 伸男 (聖徳大学)
小谷 スミ子 (元新潟大学・大学院)
小野瀬 裕子 (共立女子大学)
小原 敏郎 (共立女子大学)
香川 実恵子 (松山東雲女子大学)
熊本 ヒロ子 (神奈川県立益利谷高等学校)
近藤 恵 (共立女子大学)
薩本 弥生 (横浜国立大学)
志村 結美 (山梨大学)
下野 房子 (前東海学園高等学校)
友定 啓子 (前山口大学)
鳥井 葉子 (安田女子大学)
中西 雪夫 (佐賀大学)
中村 安秀 (大阪大学)

吉田 幸子 (前南山高等学校女子部)
米田 千恵 (千葉大学)
渡邊 雅行 (常葉大学)

編集協力者

岩田 裕幸 (埼玉県立浦和高等学校)
大森 正司 (前大妻女子大学)
酒井 裕美 (さいたま市立大宮西高等学校)
佐藤 ゆかり (上越教育大学)
相馬 美恵子 (神奈川県立神奈川工業高等学校)
田村 京子 (埼玉県立鴻巣女子高等学校)
長尾 慶子 (前東京家政大学)
日浦 美智代 (広島大学附属中等学校)
三浦 みのり (安城学園高等学校)

3 子どもの生活と保育



あなたは、子どものころ、どのような生活をしてきたか覚えているだろうか。ここでは、子どもの生活や遊び、健康と安全について学ぶとともに、おとながどうかかわったらよいか考えていこう。



子どもが身につけていく基本的な生活習慣は5つある。眠る、着る、食べる、排泄する、あと一つは何？

- 1 交通ルールを守る
- 2 あいさつをする
- 3 清潔にする

導入に使える
3択問題

*解答は指導書に掲載しています。

1. 子どもの生活とおとなのかかわり

パッと目に入る
項目・見出し

生活リズム 睡眠、食事、遊び
一定の規則をもった生活行動の繰り返しのこと。

18 被服選びのポイント



イメージしやすい
イラスト

- 被服の生地：吸湿性・保温性・通気性
- 安全性：ひも、リボン、フードは危険
- 動きやすさ：伸縮性のある被服を選ぶ
- 脱ぎ着：着脱しやすいデザインを選ぶ

1 子どもの生活

子どもの成長・発達の基盤は、早寝早起きで日中に行動する昼型の生活リズムにある。新生児も何回も眠りと目覚めを繰り返す。だいに睡眠が夜間にまとまるようになっていく。

食事は、生後数か月は母乳や育児用ミルクだけを飲む。5～6か月ごろから離乳が始まる。1歳6か月ごろまでに離乳が完了し、その後は朝昼夕の三食と間食が基本となる。子どもは体重の割に多くの栄養素を必要とし、好き嫌いや食べる量の個人差が大きい。また、運動機能や体温の調節機能が未熟なので、被服や住まいに配慮が必要である。

子どもは安定した生活リズムと家庭生活のなかで、基本的な生活習慣や社会的な生活習慣を獲得していく。基本的な生活習慣とは、食べる、着る、排泄するなど身のまわりのことを自分でできるようになることである。社会的な生活習慣とは、道路に飛び出さない、熱いものに触らないなどの安全の習慣、あいさつをする、順番を守るなど簡単なルールがわかるようになって自分で考えて行動できることである。

太字数
約4倍

*現行版との比較

17 離乳の進みかたのめやす

5 か 月	6 か 月	7 か 月	8 か 月	9 か 月	11 か 月	1 歳	1 歳 6 か 月
ゴクン期 1日1回	モグモグ期 1日2回				カミカミ期 1日3回		パクパク期 1日3回
●ヨーグルト状にすりつぶす。つぶしがゆ1さじから始め、野菜、魚、肉と少しずつ試す。	●豆腐くらいの、舌でつぶせるかたさ。いもやくだもの、卵など、食品の種類を増やしていく。		●卵は最初、黄身だけを調理し与える。		●バナナくらいの歯ぐきでつぶせるかたさ。おかゆを中心に、おかず、汁ものをそろえる。	●離乳食以外、母乳や育児用ミルクを飲む。	●肉だんごくらいの歯ぐきでかめるかたさ。1日3回の食事と間食へとリズムを整える。



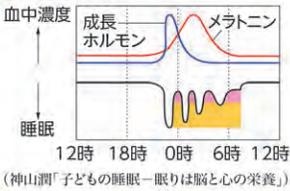
FOLLOW UP

早寝・早起き・朝ご飯

人間の体は、脳が毎朝、太陽の光を視覚で認識することで調子を整えている。寝不足や不規則な睡眠は、体の調子を崩し、成長に必要なホルモンの分泌も妨げてしまう。早寝・早起き・朝ご飯は、子どものすこやかな成長・発達に欠かせない。

20 睡眠・覚醒と成長ホルモン

- レム睡眠(夢を見ながら身体の点検)
- ノンレム睡眠(グッスリ眠って、頭の休憩)



2 自立にむけたおとなのかかわり

家庭や子どもが過ごす施設で、子どもに
え、子どもの成長・発達の状態に応じて精神の安定をはかりながら、社会の一員として必要とされるさまざまな力の基礎を育てていくことを保育という。家庭でおこなうものを家庭保育、
▶p.56
を
グループ生活を通しておこなうものを集団保育という。

興味関心を引く
読みもの資料

FOLLOW UP

20
子どもが意欲的に生活できるように、睡眠や食事リズムを整え、落ち着いた生活をつくっていく役割がある。最近、夜型の生活によって、朝食を抜く、食欲がない、元気のない子が増えており、社会問題にもなっている。10
また、生活習慣の獲得には、粘り強い働きかけが必要となる。子どもの意欲や欲求を大切にし、おとなが環境を工夫し、やりかたをわかりやすく教え、いっしょにやってみたり励ましたり、できたことを喜び合ったりすることで、子どもは少しずつできるようになっていく。その過程で、子どもは、家族やまわりの
15
人の愛情を感じ、達成感や自信をもつことができる。

写真満載!

19 子どもの生活と基本的生活習慣、おとなのかかわり

眠る



▲早寝早起きのリズムはおとなといっしょにつくっていく。就寝時間を決め、添い寝や絵本を読んで落ち着いて眠れる環境をつくる。

食べる



▲おとなが食べることを楽しむと、子どもも食べることを楽しむようになる。家族といっしょの食事は人間関係の基礎になる。

着る



▲発達に合わせて、自分で着られるように、励ましながら、繰り返し丁寧に教えていく。

清潔にする



▲歯磨きや洗面、手洗、入浴などを生活リズムのなかに位置づけて、しだいに習慣づけていく。無理じい

排泄する



▲脳の発達も関連する。はじめは無意識な排泄や便意を感じないに、尿意や便意を感じ、しだいに習慣づけていく。

思考力・実践力をのばす
try&hint

あいさつやルールなど

▲日常生活や遊びのなかで、見本をみせながら、繰り返し教えていく。あいさつは、おとなが見本になって、率先してする。交通ルールは「危ないよ」と言うだけでなく、どういふところに注意が必要かも教えていく。



try & hint

try 子どものおやつをつくってみよう。

hint マカロニアベかわ

●材料(3~4人分)

- マカロニ.....100g
- きな粉.....20g
- 砂糖.....15g

①鍋に湯を沸かし、マカロニ

を入れてさいばしでほぐし、30秒したら火を消して、ふたをして表示のゆで時間まで放置したら、冷水にさらし、ざるに上げ水けを切る。

②ボウルにきな粉と砂糖を入れて混ぜ、そこにマカロニを入れてよくからめる。

完全見開き
2ページ展開

2

私たちは何を食べてきたか

本文の理解を
助けるていねいな
側注

きょうの学習が明確な
タイトル

***1 主食** 食事のなかで、おもにエネルギーの供給源となるもの。

***2 副食** 主食に添えて食べるもの。おかず。たんぱく質の供給源となる主菜とビタミンや無機質の供給源となる副菜に分かれる。

***3** たとえば、寒い地域では、冬の食料不足に備えて、秋に収穫した野菜をつけものにして保存してきた。

***4 「和食」** 「自然を尊ぶ」という日本人の心にもとづく食のならわしと位置づいて、①多様で新鮮な食材とその持ち味の尊重、②栄養バランスに優れた健康的な食生活、③自然の美しさの表現、④正月などの年中行事との関係性を踏まえて具体化した食事を総じて

課題発見力、
解決力の反復練習
try&hint

try&hint

try あなたが住んでいる地域や都道府県の郷土料理を調べてみよう。

hint 料理に使われる食材やつくりかた、食べられる時期などをまとめ、今に伝わるまで定着した理由を考えてみよう。

コラム おせち料理に込められた意味と願いの例

● **田つくり (ごまめ)**
小魚を田畑に肥料としてまいたことから「田つくり」の名がついた。五穀豊穡を願うもの。

● **栗きんとん**
「きんとん」は「金団」と書き、財宝という意味がある。色も、金銀財宝を連想させる。



● **こぶ巻き**
こぶ (こんぶ) は「喜ぶ」のことばにかけている縁起物。健康長寿を願うもの。

● **黒豆**
「まめ」は「まめ」が「まめ」を意味することば。「まめに働く」の語呂合わせで、一年元気に働くことを願うもの。

1 私たちの生活と食文化

私たち日本人は、米を主食に、大豆や魚介類、野菜類などを副食にして食べてきました。日本各地で、地域の産物をおいしく食べる調理方法や貯蔵手段、加工技術が発達しました。それは生活の知恵として蓄積された食文化として、地域独自の食べ物や郷土料理、また、年中行事や通過儀礼に供される食文化が、今に引き継がれています。

2 世界の食文化と和食

世界各国にも日本と同じく、伝統的な食文化があります。近年、国際化や情報化の進展で世界に広まり、それぞれの国で受容されて多国籍化し、新しい食文化が創造されています。一方で、伝統的な食文化を保護し尊重しようという動きもあります。2013年には、日本の伝統的な食文化が「和食」としてユネスコ無形文化遺産に登録されています。私たち一人ひとりが和食文化の伝承・発展の担い手として、伝える力をもちましょう。

太字数
約4倍

*現行版との比較

1 PFCバランスの国際比較

● 日本 (— 1960年, — 1980年, — 2012年)

P(たんぱく質: Protein)

C(炭水化物: Carbohydrates) F(脂質: Fat)

● アメリカ(2009年)

● フランス(2009年)



▲PFCの適正比率は、たんぱく質:約15%、脂質:約25%、炭水化物:約60%とされ、適正に摂取すると正三角形になる。

(農林水産省「食料需給表」2014年)



AB判ならではの
すっきりしたワイドな紙面

Questionは
3択問題です

*解答は指導書に掲載しています。

食生活

学習のねらい

- 食文化について理解しよう。
- 肥満、生活習慣病、骨粗鬆症、孤食について知り、食生活を見直す必要性を理解しよう。
- 自分の食生活を見直し、問題点を把握しよう。

Question

1980年ごろ実現した、日本人が長寿になった理由の一つとされる食生活をなんという？

- 1 和食
- 2 食の欧米化
- 3 日本型食生活



3 食生活を見直す

1980年ごろ、米を中心に多種多様な食品から構成される栄養バランスにすぐれた「日本型食生活」が実現し、日本人が長寿になった理由の一つとして、世界から注目されてきました。

5 しかし、昨今は、**食の欧米化**と**食の簡便化**の進行でさまざまな問題が生じており、食生活の見直しが必要になっています。

たとえば、食べ過ぎや運動不足から、**肥満**や**内臓脂肪症候群**(**メタボリックシンドローム**)が増加しています。これらは**生活習慣病**につながります。逆に、ダイエットで極端に食事を制限し続けると将来、**骨粗鬆症**につながる危険性があります。また、食事を一人で食べる**孤食**など食卓を家族で囲む習慣が減少し、コミュニケーション不足、食事のマナーや感謝の心が育たなくなっているといった弊害が指摘されています。

15 あなたの食生活はどうでしょうか。食事は食いだめがききません。毎**UD**(**ユニバーサルデザイン**)があります。食生活を点検して、**書体で、読みやすさUP!**

*5 食の欧米化 食事が洋食中心になること。米食が減り、動物性脂肪が多い食事になりやすい。

*6 食の簡便化 外食、中食(持ち帰り弁当や惣菜などを買って家や学校等で食べる)、インスタント食品や冷凍食品などの加工食品を利用して、食事が簡単に用意できるようになること。

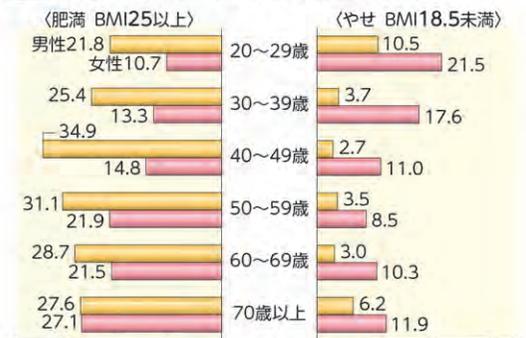
*7 生活習慣病 喫煙、飲酒、過食やバランスの悪い食事、運動不足、ストレス等の生活習慣が原因で発症する病気。悪性新生物(がん)、心疾患、脳血管疾患、肥満、糖尿病、高血圧などがある。

2 外食率と食の外化率の推移



[注]外食率：食料消費支出における、外食が占める割合。食の外化率：食料消費支出における外食と中食が占める割合。

3 BMIによる肥満とやせの割合(2013年)



▲BMI=体重(kg)÷身長(m)²。22が「標準」、18.5未満は「やせ」、25以上は「肥満」と判定。標準体重とはBMIが22になるときの体重。

4 あなたの食生活点検—当てはまる項目に○をつけよう—

- 食事は、ほとんど一人で食べている。
- ファストフード、インスタント食品をよく利用する。
- ダイエットをしている。
- 食事時間が決まっていない。
- 間食や夜食をよく食べる。
- 朝食を食べないで登校することがある。
- 野菜はあまり食べない。
- 脂っこいものをよく食べる。
- 食べ残しが多い。
- 「○○は体にいい」などの健康情報はすぐに実行する。

●(評価) ○の数が…
 10~8個：このままでは生活習慣病予備軍。(→p.117)
 7~5個：食生活への意識がかなり低い。改善しよう。
 4~2個：健康で楽しい食生活にむけて、食生活に関心をもとう。
 1~0個：今の食生活を維持して、さらに磨きをかけよう。
 (内閣府「食育推進国民運動の重点事項」2007年を参考に作成)

お問い合わせ・体験版のご請求は、大修館書店 電子出版開発室まで
 (Tel)03-3868-2603
 (体験版申込み Web フォーム)
https://www.taishukan.co.jp/digital_trial/

3冊共通の特色

口絵・章とびら



▲歳時記のある暮らし(口絵①～②)

ビジュアルな写真やイラストで構成。
生活への興味関心を引き出す資料
としてご活用いただけます。



第3章「子ども」の章とびら▶

try&hint, Practice, Theme Study

try & hint

try クーリング・オフ制度について、さまざまな情報を参考にくわしく調べてみよう。

hint 消費者問題に関する書籍やインターネット情報、消費者庁・国民生活センター・消費生活センターなどの公的機関の資料などが情報源となる。

▲try&hint

豊富、多彩な実践課題。
グローバルな視点をもって、
主体的な学習が展開できます。

Theme Study▶

Theme Study

私のマネープラン

人生の必要経費はいくら?

あなたの人生に必要なマネープランを算出しよう。

生活費の試算、ライフイベントの試算、働きかたと収入の試算。

▼Practice

住生活

住空間についての検討

住空間の検討、住生活の検討、住生活の検討。

調理実習



1 実習例 2 実習例

手軽な調理に挑戦!

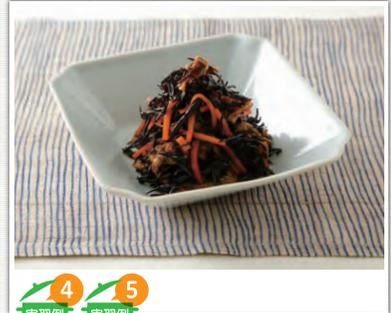
麻婆豆腐丼, 炒飯, カルボナーラ
ピザトースト



3 実習例

主菜をつくろう

煮魚, 肉じゃがのカレー風味
鶏肉のバリバリ焼き, チーズ巻きフライ



4 実習例 5 実習例

副菜をつくろう

青菜のおひたし, かぼちゃの煮もの, ひじきの煮もの
茶わん蒸し, トマトサラダ, ごぼうサラダ
ベーコンポテト, 炒菜 (318 / 319 では主菜扱い)



6 実習例

汁ものをつくろう

青菜と豆腐のみそ汁, クラムチャウダー
ベーコンとしいたけの簡単スープ, 豚汁



7 実習例

お菓子づくり

桜もち (関東風・関西風)
混ぜるだけレアチーズ



8 実習例

弁当づくり

おにぎり, 卵焼き, 野菜の肉巻き
つけ合わせ

主食・主菜・副菜・汁ものにグループ化。献立づくりがしっかり学べます。単品だから、お手持ちのレシピと組み合わせてのご指導も可能です。各料理の動画もあります(詳しくはp.21をご覧ください)。

被服実習 (家総311のみ)



▲ハーフパンツ



▲はっぴ

被服製作の基礎・基本を
しっかり学べる資料も豊富
に掲載しています。
家庭基礎2冊には、基礎縫
いやリフォームのtry&
hintを収録しています。

教科書とご授業をサポートする 指導資料

教授用指導資料

第1巻 人の一生／家族・家庭／子ども／高齢者／共生社会

第2巻 経済生活／食生活

第3巻 衣生活／住生活／持続可能な社会／生活デザイン

●B5判／2色刷／第1巻 240ページ
第2巻 224ページ
第3巻 200ページ

家基318



家総311



家基319



第1巻 人の一生／家族・家庭／子ども／高齢者／共生社会／経済生活

第2巻 食生活／衣生活／住生活／持続可能な社会／生活デザイン

●B5判／2色刷／第1巻 224ページ
第2巻 208ページ

●指導資料セット

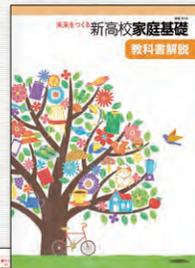
[定価] 本体27,000円＋税

- ①教授用指導資料
- ②評価問題例集
- ③授業サポートデータ集
- ④家庭科動画集

●B5判／2色刷
192ページ

毎時の授業計画を見たい
授業のアイデアやヒントがほしい
教科書の指導のポイントを把握したい
教授用指導資料ですべて解決!

家基319のみ▶
「教科書解説」が
別冊となります。



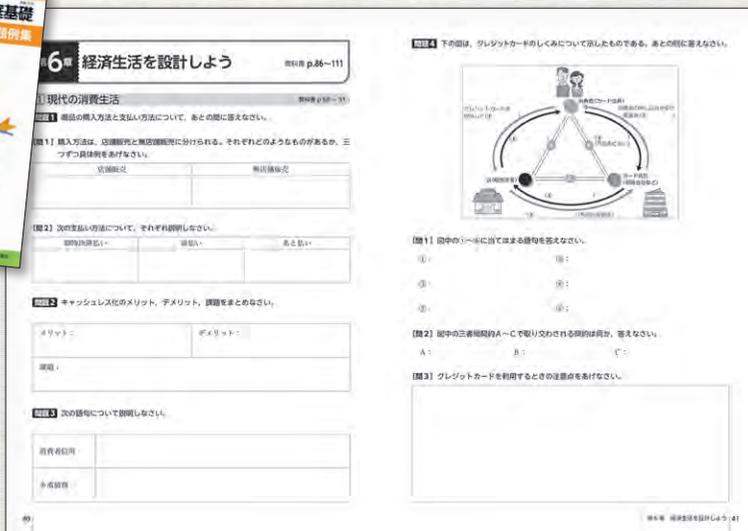
*教授用指導資料の一部を毀損・滅失された場合には、その一部分をご提供することができます。詳しくは弊社までお問い合わせください。

評価問題例集



●B5判/
[311] 112ページ
[318][319] 96ページ

テストの問題をつくりたい
授業プリントをつくりたい
評価問題例集がお役に立ちます！



授業サポートデータ集

新登場



教科書、評価問題例集、学習ノート、シラバス等のデータ、動画(食生活分野・衣生活分野)を収録。授業プリント、テスト作成、授業中の動画視聴等にご活用いただけます。

情報誌・WEB



「家庭科通信」

1995年創刊以来、家庭科に関するさまざまな情報をお届けする情報誌。読みごたえたっぷり、役立つ情報満載です。

「家庭科情報室」

<http://www.taishukan.co.jp/kateika/>

毎日のご授業に役立つホットなコンテンツ満載。



編集部からのお知らせを中心に、家庭科に関することをつづやっています。

家庭科動画集

新登場



▲▲
「調理」と「基礎縫い」の動画を収録

改訂版の年間計画と
シラバスをいち早くお届け！

「家庭科情報室」から公開・ダウンロードできます。
教授用指導資料や授業サポートデータ集にもデータを収録します。

学習のまとめ、教科書の補助に役立つ 副教材



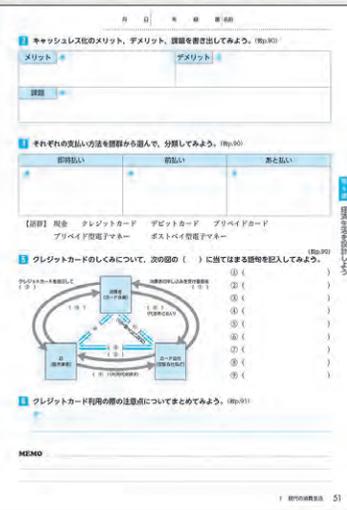
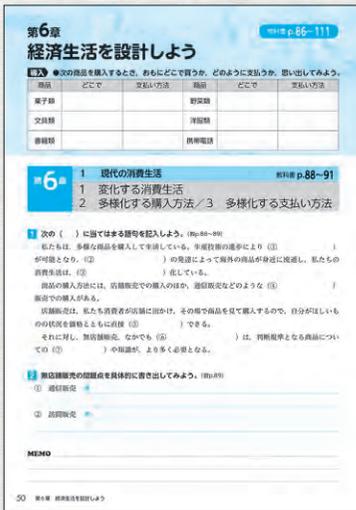
家総311 準拠
学習ノート
●B5判/144ページ/2色刷
[定価] 本体560円+税



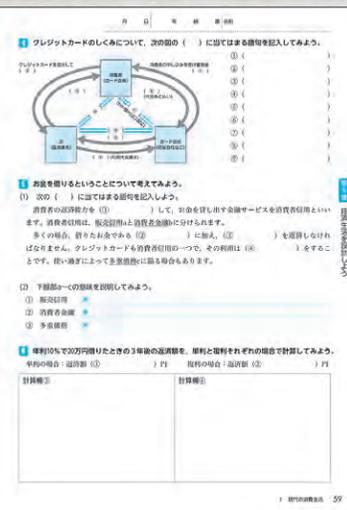
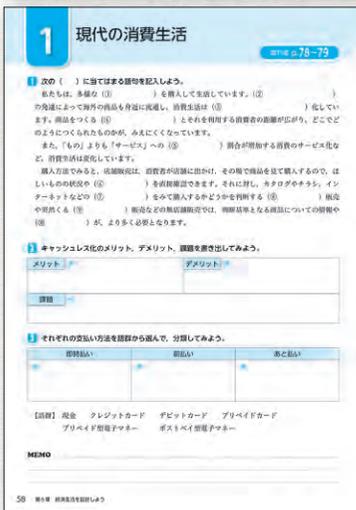
家基318 準拠
学習ノート
●B5判/112ページ/2色刷
[定価] 本体560円+税



家基319 準拠
授業ノート
●B5判/144ページ/2色刷
[定価] 本体560円+税



◀教科書の内容にそって学習をまとめていけるノートです。導入課題も収録。



◀教科書見開きと同じく、授業ノートも見開きで構成。教科書はAB判ですが、授業ノートはB5判で、集めたり、チェックしたりがしやすくなっています。



スキルアップ家庭科

家庭科資料と食品成分表

●AB判/270ページ/4色刷 定価 本体700円+税

2017年
4月発行!

家庭科資料編は、授業をリアルにする、生徒がぐっと引き込まれる資料を選択、掲載しています。

食品成分表編は、「日本食品標準成分表2015(七訂)」準拠。栄養の特徴が一目でわかる「グラフ型成分表」に、いきいきとした食品写真・詳しい食品解説をあわせて掲載しています。改訂版教科書と合わせて、ぜひご利用ください。

▲新JISと旧JISの比較対照表 (教科書にはない資料です)



▲体のしくみと栄養素の働きがしっかり学べる資料



▲「ネウボラ」…子育て支援の新しい取り組みを紹介する資料

▲食品成分表編「調理後食品・そう菜」



2017年
4月発行!

七訂準拠

カラーガイド 食品成分表

「食べる」ことの楽しさを知る

●B5判/320ページ/4色刷 定価 本体780円+税

◎約300食品を加えた「日本食品標準成分表2015(七訂)」の全2,191食品の成分値を収載

◎「そう菜」データ(豚汁, きんぴらごぼう, 肉じゃがなど)を掲載

◎食べもののそのものの色, みずみずしさを表現した写真・イラスト

毎日の授業に役立つ **ホットな** 情報が満載!!
 大修館ホームページ

大修館書店 家庭科情報室

<http://www.taishukan.co.jp/kateika/>

The screenshot shows the homepage of the Taishukan Kateika website. At the top, there is a navigation bar with links for TOP, 教科書, 副教材, お知らせ, 関連書籍, 家庭科通信, and 先生応援ページ. A Twitter icon is highlighted in a red box. The main content area features a large illustration of a colorful town. Below this, there are sections for 教科書 (Textbooks), 副教材 (Supplementary Materials), お知らせ (News), 関連書籍 (Related Books), and 先生応援ページ (Teacher Support Page). Each section has a callout box with a red border and white background, providing additional information. The 教科書 section highlights new textbooks for the Heisei 30 school year. The 副教材 section offers downloadable materials. The お知らせ section lists recent updates. The 関連書籍 section features a book titled '家庭科通信'. The 先生応援ページ section offers special lectures and research materials. A footer callout box mentions print materials.

家庭科情報室のTwitterもぜひフォローください! 編集部からのお知らせや、家庭科に関することをつぶやいています。
<https://twitter.com/TaishukanKatei>

平成30年度供給教科書を詳しくご案内しています。

副教材についてご覧いただけます。

関連書籍をご紹介します。

家庭科通信をPDFでお読みいただけます。

ご授業に役立つ情報をお届けする「先生応援ページ」。

Number, Word, Data, ホットな情報を集めています。

プリント素材などをアップしていきます。

DIYでうち磨き・12

築40年の団地を リノベーションする

末永 京

UR 都市機構高島平地
モデルルーム公開中！

すえながきょう

DIYアドバイザーで3児の母。女性向けDIY教室やおやこワークショップをホームセンターやカフェなどで開催。店舗や住宅のDIYプロデュースやDIY製品の開発にも携わる。著書に「シェルフを作ろうはじめてのDIY」(バッチワーク通信社)がある。

ブログ「DIYで作る こともと過ごすうち時間」

<http://suenagakyo.blog.jp>

今年の初め、ご縁があって築40年以上のマンモス団地の一室をセルフリノベーションをさせていただく機会をいただきました。テーマは「ママと子どもの模様替え」。小さなお子様のいる家庭を想定し「女性一人でもできるDIY」を詰め込んだモデルルームにするのです。小さなお子様がいる家庭ということで特に注意したのは「体に優しい素材」「怪我をしにくい家具」「親子の目線の合う空間」「子どもと一緒にできるDIY」「親も子ども片づけやすい収納」の5点です。

まずは「体に優しい素材」ですが、たくさんある塗料の中で今回は「バターミルクペイント」というペンキを使用しました。こちらの商品はミルクカゼインが主成分で、塗装したものが万が一口に入っても害がないというものです。子どもがいる空間にはなるべく体に優しいものを使いたいですよね。次に「怪我をしにくい家具」。真ん中の娘が2歳の頃、家具で怪我をして7針も縫ったことがあります。それがあってからは家具を作る際にはなるべく怪我をしないよう、角を丸くしたりなるべく金具を使わないよう気を付けています。続いて「親子の目線の合う空間」。キッチンとリビングの間にカウンターを設けることによって、キッチンに立ちながらも子どもの様子が見られるような造りにしました。古い団地の一室にカウンターキッチンなんて無理！と諦めずにちょっとした工夫で暮らしやすい空間を作り出すことができます。

そして「子どもと一緒にできるDIY」。子どもはペンキを塗ったり物を作ったり、とにかくDIYが大好きです。しかしまだ小さなお子様だと難しいことはできないかもしれません。そんな親子で

も楽しめるよう、マスキングテープを貼るだけのDIYや、壁紙の上に直接ペンキを塗っているように見えて実はペンキを塗ったシートを壁紙に貼っているというテクニックなど、小さなお子様でも参加できるようなDIYをいくつか使っています。最後に「親も子ども片づけやすい収納」。私自身収納はあまり得意ではありません。大雑把な性格なので細かく分類することなど特に苦手です。そこで思いついたのが、かごに入れるだけ収納。あらかじめ大きめのかごをいくつか用意し、そのかごをペイントします。いろいろな色にペイントすることによって「ピンクはお人形入れ」「水色はおままごと入れ」など、色によって入れるものを分別できます。子どもは色分けされたかごにポンポンと入れていけばよいですし、お好みのインテリアに合う色でペイントすれば、見た目もおしゃれでママも満足できるはずです。

このような5点に注意しながらおこなったセルフリノベーション。約2週間一人で黙々と通ったのですが、自らデザインし自らの手で変貌を遂げていくお部屋にどんどん愛着が湧き、今では「ただいま」と自宅に帰るようなそんな気持ちです。やはり自らの手で作り上げていく楽しさを味わえるのもDIYの魅力の一つだと思います。



▲リノベーション後の子ども部屋

エッセイ・和のある暮らし②④

ご苦労さま、いろいろな 道具を供養する

石橋富士子

おつきあいのある下駄屋さんから「はきもの供養をします」と記された興味深いご案内が届きました。下駄や草履は、底がすり減ったら修理、ゆるんだ鼻緒はすげ替え、取り替えて長く履くもの。それでも修復不能なほどに傷んでしまった「はきもの」をごみとして捨てるのではなく、神社でお祓いしてから手放しましょうというのです。その案内をひと目見て「なんて素敵なアイデア!」と思いました。

たしかに足に慣れ親しんでよそ行きにならなくなったはきものは、ふだん履きや庭履きにおろして使っているものの、それもいつかはボロボロになってしまいます。

さんざん悩んで選んだお気に入り、愛着もひとしおで、たしかにごみとして捨てるには忍びないと常々思っていたのです。でも「はきもの供養」なら心穏やかに、愛しいはきものときよならできそうだと思ったのでした。

「針供養」は古くからある行事で、曲がったり折れて使えなくなってしまった針のそれまでの働きに感謝し、やわらかい豆腐やこんにやくに刺してねぎらい供養する行事です。供養のおこなわれる浅草・浅草寺淡島堂には毎年針仕事を生業とする裁縫関係や和裁士さん、趣味で縫いものをするたくさんの方が訪れます。

かくいう私も毎日を着物で暮らしていると、半衿つけやほつれなどのちょっとした縫い仕事が多く、手元から針と糸が欠かせません。毎日を着物だけで暮らしていた昔は、さぞや針と糸が身近で大切な道具だったことでしょう。

供養といえば、ともに日々を暮らした人形を供養する「人形供養」、茶道の世界ならお茶を点てる

文・イラスト／石橋富士子

毎日を着物で暮らすイラストレーター。教科書、絵本などの他、和小物製作デザインやオリジナル落雁の型を使った落雁作りワークショップなどを開催。「家庭科通信」の表紙も創刊時から手がけている。著書に「知識ゼロからの着物と暮らす入門」「知識ゼロからの着物と遊ぶ」(幻冬舎)着物をもっと楽しむための刺繍和小物を作る富士商会を2015年設立。
<http://www.fuji-peta.com/>

のに使った茶^{ちやせん}筥を供養する「茶筥供養」など、いろいろな供養があります。

暮らしのなかでお世話になったさまざまな道具たちの最後をきちんと送る「供養」は、毎日の生活や時間、ものを大切にする心につながるようで、慎ましいけれど豊かな暮らしかたを目指す上で必要な行事のように思えます。この「はきもの供養」のご案内をいただいて、自らの「もの」に対するはじめのような形として、あらためて「供養」というスタイルを暮らしのなかに取り入れてもいい、と感じました。

生活を便利に、そして豊かにして潤いを与えてくれるさまざまな道具たち。感謝の心をもって大切に扱う気持ちのありかたはとても日本的です。

八百万の神の存在を感じる日本ならではのとらえかたで、なかでも特にもの(道具)には長い年月を経ると神が宿るとされ、「九十九神^{つくもがみ}」と呼ばれます。きっと感謝しながら大切に使っていれば、役目を終えたあともきっとよいことをもたらしてくれるに違いないと思います。

冒頭の下駄屋さんからは「新しいはきものは新しい年におろすと、それが履く人を吉方、縁起のよい場所へと運んでくれるのよ」というお話も伺いました。新しい年度にはそんな「縁起」を担いでみるのもよいですね。



日本家庭科教育学会 2016年度例会報告

▲2016年12月11日、日本家庭科教育学会2016年度例会を、東京家政大学で開催された。

1. 研究発表(口頭発表)

本例会では計19本の研究発表がおこなわれた。高等学校でのご授業実践の報告・提案や研究としては、次のようなものがあった。

- ・高等学校家庭科における安全な住まいに関するアクティブラーニングの提案と検証(長岡造形大学・広川智子, 新潟大学・飯野由香利)
- ・気づきを意思決定につなげるアクティブラーニングの授業実践—食品添加物と健康食品—(東京大学教育学部附属中等教育学校・榎府暢子)
- ・ホームプロジェクト学習における高校生のプレゼンテーション能力向上プロセス(東京都立戸山高等学校・荒井きよみ)
- ・高等学校家庭科における消費者市民教育(大阪教育大学・大本久美子)
- ・高等学校家庭科における食物アレルギー対応策に関する研究(京都教育大学大学院・福永佳奈, 京都教育大学・湯川夏子)

発表に続く質疑応答でも、ご授業実践や研究に関し、方法や進めかた、生徒の反応や今後の課題などについて、参加者の先生方間で意見交換がおこなわれていた。

2. 課題研究 最終報告会

日本家庭科教育学会の「課題研究」は、学会活動の柱の一つである「研究活動の推進」の一環として、家庭科教育に関する諸課題のなかから研究テーマを取り上げ、学会共通の問題認識のもとにおこなう研究である。これまで、第1期(2008～2010年)

には「食をめぐる課題と家庭科教育の可能性」、「地域の生活に根ざす家庭科」、「多様化する高等学校における家庭科教育の意義と課題」をテーマに6グループが、第2期(2012～2014年)には「自立する力を育てる家庭科授業用プログラムの開発」、「ESDとしての家庭科教育の可能性と役割」をテーマに2グループが取り組んできた。

今回の例会では、第3期(2014～2016年)のテーマである「グローバル化と家庭科」、「貧困と家庭科」について4グループがおこなってきた研究の最終報告がなされた。

【テーマ1 グローバル化と家庭科】

- 1-1 外国につながるのある小学校児童の現状と家庭科の課題

報告者：河村美穂氏(埼玉大学)
堀江さおり氏(宮崎大学)

- 1-2 グローバルな視野で世界の家庭科をつなぐーレッスン・スタディを中心とした日本からの発信と交流ー

報告者：貴志倫子氏(福岡教育大学)

- 1-3 グローバルな視点を導入した家庭科カリキュラム開発

報告者：大本久美子氏(大阪教育大学)

【テーマ2 貧困と向き合う家庭科】

- 2-1 貧困と向き合う家庭科—高校家庭科の取り組みを中心に—

報告者：大竹美登利氏(東京学芸大学)

「1-3 グローバルな視点を導入した家庭科カリキュラム開発」では、グローバル社会では異文化との共生や多様性、人権の尊重が重要であり、高等学校の家庭科においては、他者の見解に啓発され、自らの考えや意識を再組織化できる学習を通して、資質や能力を育成することが重要であるとの報告があった。

「2-1 貧困と向き合う家庭科—高校家庭科の取り組みを中心に—」では、高校生の生活実態調査の結果から、食事管理や家計管理、将来を見通した生活設計能力の育成が必須であり、自らの将来と関連づけた学習が重要であることが報告された。

新しい動き・1

育児・介護休業法改正

▲2016年3月、育児・介護休業法が改正され、2017年1月1日から施行された。

子育てや介護など家庭の状況から時間的制約をかかえている時期の労働者について、仕事と家庭生活が両立しやすい環境の整備を進めていくために、育児・介護休業法(正式名称：育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律)が改正され、2017年1月1日から施

行された(■①)。子育てについては、多様な家族形態・雇用形態に対応した育児期の両立支援の制度が、介護については、介護離職を防止し仕事と介護の両立を可能とする制度が整備された。

今回の改正により、介護休業を分割して取れる、介護休暇や子の看護休暇を半日単位で取れるなどの柔軟化や、有期契約労働者の育児休業の取得要件の緩和、育児休業等の対象となる子の範囲の拡大などが定められた。また、妊娠・出産、育児休業や介護休業を取得しながら働き続けようとする労働者の就業環境を整備していくために、上司・同僚などからの嫌がらせ等を防止する措置を講じることが事業主に義務づけられた。

●育児・介護休業法改正のあらまは、下記の厚生労働省 Web ページで閲覧できます。<http://www.mhlw.go.jp/bunya/koyoukintou/pamphlet/32.html>

■①育児・介護休業法のおもな改正内容

改正内容	現行	改正後
介護休業の分割取得	介護を必要とする家族1人につき、通算93日まで原則1回にかぎり取得可能	通算93日まで、3回を上限として分割して取得可能
介護休暇の取得単位の柔軟化	1日単位での取得	半日(所定労働時間の2分の1)単位での取得が可能
介護のための所定労働時間の短縮措置等	所定労働時間の短縮措置について、介護休業と通算して93日の範囲内で取得可能	介護休業とは別に、利用開始から3年の間で2回以上の利用が可能
介護のための所定外労働の制限(残業の免除)	なし	対象家族1人につき、介護終了まで利用できる所定外労働の制限を新設
子の看護休暇(年5日)の取得単位の柔軟化	1日単位での取得	半日(所定労働時間の2分の1)単位での取得が可能
有期契約労働者の育児休業の取得要件の緩和	以下の要件を満たす場合に育休が取得可能 ①申出時点で過去1年以上継続して雇用されていること ②子が1歳になったあとも雇用継続の見込みがあること ③子が2歳になるまでの間に雇用契約が更新されないことが明らかである者を除く	以下の要件に緩和 ①申出時点で過去1年以上継続して雇用されていること ②子が1歳6か月になるまでの間に雇用契約がなくなることが明らかでないこと
育児休業等の対象となる子の範囲	法律上の親子関係がある実子・養子	特別養子縁組の監護期間中の子、養子縁組里親に委託されている子等も新たに対象
マタハラ・パタハラなどの防止措置の新設	事業主による妊娠・出産・育児休業・介護休業等を理由とする不利益取扱いは禁止	●現行に加え、上司・同僚からの、妊娠・出産、育児休業、介護休業等を理由とする嫌がらせ等(いわゆるマタハラ・パタハラなど)を防止する措置を講じることが事業主へ新たに義務づけ ●派遣労働者の派遣先にも以下を適用…育児休業等の取得等を理由とする不利益取扱いの禁止/妊娠・出産、育児休業、介護休業等を理由とする嫌がらせ等の防止措置の義務づけ

(厚生労働省資料より)

ガイド50 JIS Z 8050

▲2016年12月、子どもを傷害事故から守るための基本安全規則「ガイド50」を翻訳した「JIS Z 8050」が制定された。

「ガイド50」は、国際標準化機構(ISO)と国際電気標準会議(IEC)がつくった国際規格「ISO/IEC Guide 50」の略称で、子どもにとって安全な製品づくりに関するルールの指針となる国際規格である。2014年12月に改訂第3版が発行され、(第1版は1987年、第2版は2002年に発行され、子どもの傷害事故の防止を考えるうえでひじょうに有効な文書とされていたが、日本ではあまり知られていなかった)日本ではこれを翻訳した日本工業規格(JIS Z 8050)が2016年12月に制定・発行された。JIS Z 8050は「安全側面—規格及びその他の仕様書における子どもの安全の指針」というタイトルで、子どもがかかわる製品の安全規格をつくるための指針。安全規格をつくる専門家のための指針ということだが、一般人、特に子どもの安全に責任や関心をもつ人にとって重要な知識が記されている。

序文で「傷害の防止は社会全体で共有すべき責任」と記され、子どもが転落、やけどなどで致命的な危害にあう可能性を最小限に抑えるよう、サービスなどを含めた製品をつくるのが規格の目的だとしている。そして、「子どもは小さなおとなではない」ということが強調され、安全な製品をつくるには、子どもの年齢や発達に応じた行動について知ることが大切だと記されている。体の各部分の成長、運動能力や生理機能の成長、認識力の発達、さらに子どもは旺盛な好奇心によって危険を知らずに新しいことにチャレンジしようとするなど、子どもの特徴が系統立てて解説され、それによってどのようなけがの危険があり

うか、どう対処するべきかが、事例とともに詳しく記述されている。たとえば、新生児から3歳までは何でも口に入れ、1歳から4歳になるとものを投げることを覚える。洗濯機などの狭いスペースに入ろうとするのも子どもの特性であり、こうした特性をふまえたうえで、おとなの傷害防止策とは別に対策を考えなければいけないとされる。

「子どもの安全環境(第6章)」では、「はまり込み及び巻き込み」、「コーナー、エッジ及び先端部」、「落下」、「溺水」、「窒息」などさまざまな項目がもうけられ、リスクと対処法が記されている。「窒息」の項目では、日本でも事故が起きている窓のブラインドひもなどが事例としてあげられている。

子どもの安全を守るためには、JIS Z 8050の指針が実際の製品やサービスに採り入れられることが大切である。ガイド50が翻訳され、JISとして制定されたことで、日本の企業がより子どもの安全を意識した製品づくりをするようになることが期待される。公益社団法人・日本技術士会登録の「子どもの安全研究グループ」は、ガイド50の考えかたを一般にも広めようと、Web ページでガイド50の一般むけ解説を公開している。また、ガイド50は原文が英語とフランス語であり、文化的背景が異なることも含め、用語や言い回し、文脈が理解しづらいことが指摘されている。同グループでは、わかりづらい項目をキーワードとして解説し、Web ページに掲載していくとしている。

●子どもの安全研究グループ Web ページ：<http://www.mhlw.go.jp/bunya/koyoukintou/pamphlet/32.html>

■「ガイド50」が求める製品づくりで考慮すべき点

- 傷害の防止は社会全体で共有すべき責任
重大な危険を生まない製品づくりが大切
- 子どもは体の小さなおとなではない
子どもの特性や成長に応じた安全対策を
- 子どもは生来の探索心を抱いている
学び、遊ぶ必要性和安全性の両方が大切
- 誤使用ということばは誤解を招きやすい
子どもがさまざまな使いかたをすることを想定すべき

Key Word

地域型保育事業

2015年4月から施行されている、子ども・子育て支援新制度にともない、児童福祉法に位置づけられた認可保育事業である。0～2歳児を対象に、地域における多様な保育ニーズにきめ細かく対応できる、質が確保された保育を提供し、子どもの成長を支援することを目的としている。小規模保育(定員6～19人)、家庭的保育(定員5人以下)、事業所内保育(従業員の子どものほか、地域において保育を必要とする子どもにも保育を提供)、居宅訪問型保育の4つの事業類型がある(■□)。市町村が認可するもので、認可されれば地域や規模、事業類型などに応じて国や県、市町村負担の給付金が事業所に支給される。

2016年4月現在、地域型保育事業の件数は全国で3,719件で、2015年から979件増加した。内訳は小規模保育がもっとも多く2,429件で、家庭的保育958件、事業所内保育323件、居宅訪問型保育9件となっている。認可外だった施設から移行した施設では、保育環境が改善し、職員体制の充実がはかられている。その一方で、3歳以上児や妊娠中の専業主婦の子どもなど、地域型保育事業の対象とならない子どもを受け入れている認可外施設は地域型保育事業への移行を希望しても移行することができないなどの課題があり、柔軟な

対応を求める声、市町村により裁量を与えるべきという指摘もある。

(参考：内閣府 Web ページ，厚生労働省資料，岩手日報2016年10月16日など)

デジタルデトックス

スマートフォン(以下スマホ)やパソコンなどのデジタル機器への依存を防ぐため、またデジタル機器の使い過ぎによる疲労を防ぐために、デジタル機器から一定期間離れる取り組みのこと。デトックスは「detoxification」の略で、解毒・浄化という意味である。海外でも広がっており、日本では「ネット断食」と呼ばれることもある。

具体的には、

- ・数時間デジタル機器の電源をオフにする
 - ・食事中や歩行中の「ながらスマホ」をやめる
 - ・通学や通勤時にはスマホを使わない
 - ・就寝の1時間前はデジタル機器に触れない
 - ・休日に出かけるときはスマホを持ち歩かない
- などのルールをつくり、デジタル機器から距離をおく時間をもつ。

また、デジタルデトックスツアーやデジタルデトックスキャンプといって、デジタル機器をもたずに出かけ、自然のなかでアウトドアを楽しむなどして数日間を過ごすという試みもある。

■□地域型保育事業の各保育の特徴

	小規模保育事業	家庭的保育事業	事業所内保育事業	居宅訪問型保育事業
形態	小規模な家庭的保育に近い雰囲気、きめ細かな保育を実施	家庭的な雰囲気、少人数を対象にきめ細かな保育を実施	企業がおもに従業員への仕事と子育ての両立支援策として実施	住み慣れた居宅で1対1を基本とし、きめ細かな保育を実施
規模	6～19人	5人以下	さまざま(数人～数十人程度)	1対1が基本
場所	保育者の居宅その他の場所、施設		事業所その他の場所	保育を必要とする子どもの居宅

(厚生労働省資料より)

プレミアムフライデー

月末の金曜日に仕事を早く終えるよう推奨し、個人の消費を促そうとする取り組み。2017年2月24日に第一回目が実施され、今後も経済産業省が旗振り役となり、官民が連携して推進する。具体的には、月末の金曜日は企業が15時退社を社員に推奨する、企業が限定商品を販売する、商業施設が割引やポイント増量のサービスを提供する、レジャー施設が夜間割引を15時から実施するなどの取り組みがおこなわれる。働きかたの改革とともに消費の喚起、さらに地域の創生につなげていく目的がある。

経済産業省は、プレミアムフライデーについて、個人が幸せや楽しさを感じられる体験(買い物や家族との外出、観光等)や、そのための時間の創出を促すことで、①充実感・満足感を実感できる生活スタイルの変革への機会になる、②地域等のコミュニティ機能強化や一体感の醸成につながる、③(単なる安売りではなく)デフレ的傾向を変えていくきっかけとなる、といった効果につなげていく取り組み、としている。

一方、従業員が少ない中小企業や月末の経理業務に忙しい部署、住民の窓口対応がある自治体などは早期退勤が現実的でなく、プレミアムフライデーの取り組みに対応しかねているところもある。



▲プレミアムフライデーのロゴマーク

デコパージュ

紙ナプキンの絵柄を切り抜いて、上履きやコップなどを装飾する「デコパージュ」が人気を集めている。市販品を自分好みに装飾でき、自分の持ちものとして区別しやすくなる。

デコパージュは欧米で始まったもので、フランス語の「切り抜く」に由来することばである。もともとは、陶器や家具などに絵柄が描かれた紙を貼って装飾し、上からニスを塗り重ねて仕上げる手工芸のことを指した。近年、日本で人気が出ているのは、ニスではなく手軽な専用のりを使う方法。専用のりを扱う店が増えており、100円ショップなどでも買うことができる。

貼る絵柄の素材は紙ナプキンが主流である。紙ナプキンは絵柄の種類が多く、また薄いため布などにも定着しやすいため、みためも自然な仕上がりになる。

たとえば上履きの表面に紙ナプキンの絵柄を切り抜いて貼る場合。上履きの表面に平たい筆でのりを塗り、ナプキンから切り取った絵や模様を貼る。ドライヤーで乾かし、上に防水用ののりを塗る。防水用ののりは1日かけて乾燥させて、完成である。防水用ののりを貼っておけば、洗ってもはがれにくい。スニーカー、布バッグ、コップ、ウエットティッシュケースなど、デコパージュで装飾できるものはたくさんある。



Question & Answer

Q：生徒から「スマートフォン（以下スマホ）を紛失した」と相談を受けました。どのように対応したらよいでしょうか。

A：スマホをはじめとするの紛失・盗難に関する相談は、全国の消費生活センターにも多く寄せられているそうです。スマホにはあらゆる機能が備わっており、スマホの中には写真や動画、知人の連絡先、メールやSNS上でのやりとり、スケジュールやメモ帳など、利用者にとって大切な情報やデータが大量に保存されています。そのため、紛失したときのリスクもひじょうに大きなものになります。紛失したり盗難に遭ったりした場合、どのような行動をとればよいか、いっしょにみていきましょう。

紛失・盗難後すぐやること

①スマホの遠隔ロックサービスや位置情報検索機能の利用

携帯電話会社等が提供する遠隔ロックサービスを利用します。このサービスによりスマホのすべての機能がロックされるため、保存データの流出を防ぎ、電子マネーの利用などを停止することができます。また、位置情報検索機能を使うことにより、ス

マホが現在どこにあるか探すことができます。これらは事前の申し込みやスマホに設定が必要な場合があるので、手続き方法を事前に確認しておく必要があります。

②通信回線の停止手続き

携帯電話会社に設置されている通信回線停止手続きの窓口で連絡し、回線を止めます。停止すると①の遠隔ロックサービスや位置検索機能を利用することはできなくなるため、順序を間違えないように注意します。

③警察署、関係事業者への届出

スマホを早期に発見するため、できるかぎり紛失した場所を管轄する警察署、交番、駐在所等に届出を出します。また、電車の中や駅、デパートなどの施設内で紛失した場合は、鉄道会社や施設を管理している事業者にも問い合わせましょう。

また、ICカード機能を備えるスマホでは、通信回線を停止してもスマホにチャージした電子マネー等は利用できるため、不正利用されるおそれがあります。端末を遠隔ロックできればよいですが、できなかった場合はICカード機能のサービス提供者（電子マネー事業者や会員カードの発行者等）にも連絡しましょう。

日ごろからの備え

次に、万一のスマホの紛失や盗難に備え、日ごろからしておくべきことをみていきましょう。

①スマホのロック機能の利用

スマホの中の情報やデータを

守るため、スマホのロック機能を有効にし、一定時間操作しないでいると自動でスクリーンロックがかかる設定にしておきましょう。

②スマホ紛失の際に利用できるサービスや機能、補償サービス内容を確認し、必要に応じて加入、登録

携帯電話会社は紛失・盗難時のサポートセンター等を設置しており、遠隔ロック、位置検索、通信回線の停止、補償等のさまざまなサービスを提供しています。ふだんから、それらの窓口やWebページを確認しておきましょう。また、利用限度額の設定など、特に海外でスマホを安全に利用するためのサービスを提供している携帯電話会社等もあるので、海外にスマホをもって行く場合には活用するとよいでしょう。

③スマホ内のデータのバックアップをとる

紛失したスマホがみつからなければ、その中に保存していたデータはもとに戻りません。日ごろからデータのバックアップをとっておくことが大切になります。バックアップ方法には、(1)メモリーカードを経由してパソコンに保存しておく、(2)携帯電話会社等が提供するサービスを利用して、サーバーにデータを送信しておく、などの方法があります。

(参考：国民生活センター資料、「くらしの豆知識2017」2016年など)

通巻60号

家庭科通信 2017年・1号

機関誌・内容解説資料 2017年4月1日発行

①本誌のコピー、スキャン、デジタル化等の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。本誌を代行業者等の第三者に依頼してスキャンやデジタル化することは、たとえ個人や家庭内での利用であっても著作権法上認められておりません。

編集人 ©大修館書店「家庭科通信」編集部

発行人 鈴木一行

発行所 株式会社大修館書店

〒113-8541 東京都文京区湯島2-1-1

Tel (03)3868-2266(編集部) / (03)3868-2651(販売部)

振替 00190-7-40504 印刷・製本 壮光舎印刷

[出版情報] <http://www.taishukan.co.jp>

[家庭科情報室] <http://www.taishukan.co.jp/kateika/>

家庭科のいまをみつめ、これからをつくる

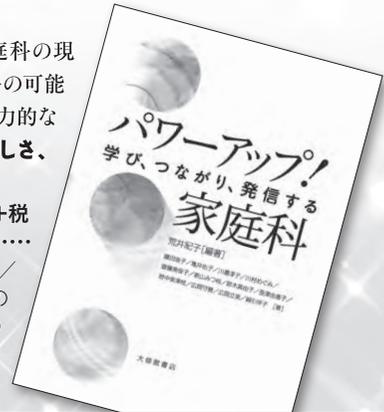
パワーアップ! 家庭科

—学び、つながり、発信する
荒井紀子〔編著〕

全国規模の調査等をもとに、都道府県ごとに異なる高校家庭科の現状を分析し、家庭科教師の生の声を取載するとともに、家庭科の可能性やおもしろさを探り、教師のパワーアップをはかるような魅力的な取り組みの実践例を多数紹介。学ぶおもしろさ、つながる楽しさ、発信する醍醐味を伝える、これからの家庭科をつくる一冊。

●A5判・208頁 定価=本体2,000円+税

【目次より】第Ⅰ部 家庭科はおもしろい〔家庭科のもつ現代的意味／家庭科へのエール〕 第Ⅱ部 家庭科のいま〔家庭科の役割／家庭科の実像／教師は家庭科をどうとらえているか／…〕 第Ⅲ部 これからの家庭科〔新しい家庭科をどうつくる／新しい家庭科の授業／家庭科を学ぶおもしろさ、楽しさを演出しよう／…〕



大修館書店

書店にない場合やお急ぎの方は、直接ご注文ください。☎03-3868-2651



●B5判・168頁
定価=本体1,900円+税

福田 洋・江口泰正〔編著〕

HEALTH LITERACY

ヘルスリテラシー

健康教育の新しいキーワード

健康格差への処方箋！ 情報化社会を元気に生き抜くために必要な力として現在、注目されている「ヘルスリテラシー」。ヘルスリテラシーとは何か？ どう測るのか？ どのように現場で活用できるのか？ 理論から実践での活用までを網羅的に解説。学生から実践家まで役立つ、初のヘルスリテラシーの成書！！

【主要目次】ヘルスリテラシーとは／ヘルスリテラシーの歴史と広がり／ヘルスリテラシーの評価法／ヘルスリテラシーと健康教育／ヘルスリテラシーと情報／学校におけるヘルスリテラシーに着目した取り組み／職場におけるヘルスリテラシーに着目した取り組み／地域におけるヘルスリテラシーに着目した取り組み／医療機関におけるヘルスリテラシーに着目した取り組み

健康情報を活用する力を育むために！

大修館書店

書店にない場合やお急ぎの方は、直接ご注文ください。☎03-3868-2651

家庭科への 参加型アクション 志向学習の導入



【 22の実践を通して 】

【編著】中間美砂子

【著】小椋さやか、久保田まゆみ、小谷教子、坂本理恵子、真田知恵子、新山みつ枝、野中美津枝、踏江和子

せりふ完成法、アンケート調査、ランキング法、ロールプレイ、ワークショップ etc.……生徒が実際に行動することを通して能動的に学ぶ「参加型アクション志向学習」を取り入れた家庭科の授業例を、高等学校における22の実践例から具体的に紹介。授業の実際がわかるプリントやワークも掲載。中学校や小学校での実践にも適用できるヒント満載！

●B5判・180頁 定価=本体2,000円+税 978-4-469-27001-3

大修館書店

書店にない場合やお急ぎの方は、直接ご注文ください。☎03-3868-2651

すぐに使える 家庭科授業 ヒント集

下野房子、吉田幸子 [著]

●B5判・128頁 定価=本体2,000円+税

楽しい授業をつくる
実践ヒント満載！



多様な活動を授業に取り入れたい先生方へ、著者が長い教師生活の中で培ってきた授業のヒントを紹介します。導入に使える小道具、簡単な実験・実習、ロールプレイなどの「ワークシートにまとめる活動編」、学習への興味・関心につながるコラム・データ・年表資料等の「授業でいかす資料編」から構成。

今日の授業に役立つ1冊！

【主要目次】

I ワークシートにまとめる活動編

これなあに？ — 実物を見せながらやってみよう — 簡単な実験・実習例
まとめてみよう！ — ワークシート例
演じて理解しよう — ロールプレイ例

II 授業でいかす資料編

これ知ってる？ — 豆知識・コラム
いくらになるかな？ — 生活データ集
歴史を振り返ろう！ — 年表例
実践を盛り込んだ授業案

大修館書店

書店にない場合やお急ぎの方は、直接ご注文ください。☎03-3868-2651